

武者人形と武者のぼり

平成二十六年六月四日まで「藤岡家住宅」にて



右上から 義経・加藤清正像

江戸時代の菖蒲の節句風景（菅楯彦）

左上から 加藤清正・応神天皇を抱く武内宿禰

武者のぼり 義経弓流しの場（平家物語）

右下 神功皇后

登録有形文化財「藤岡家住宅」

NPO法人 うちの館

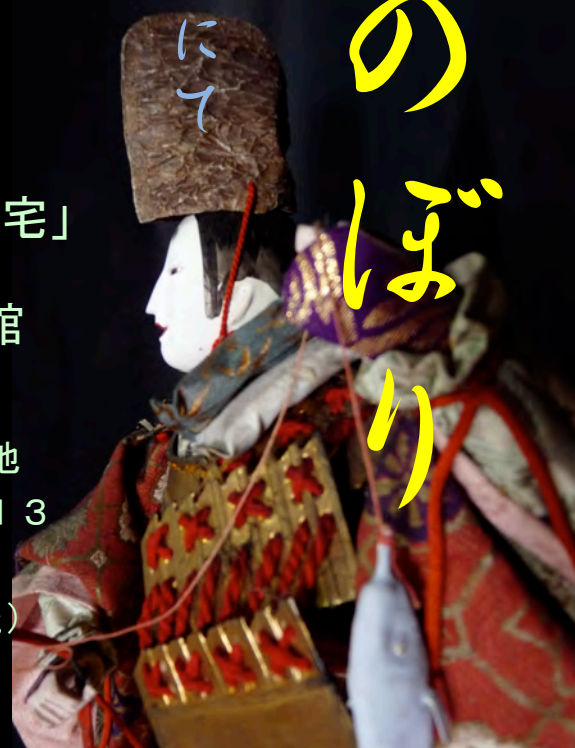
〒637-0016

奈良県五條市近内町526番地

☎とFAX0747(22)4013

info:@uchinono-yakata.com

ホームページはうちの館（やかた）



武者人形と武者のぼり

期間：平成26年4月5日（土）～6月4日（金）

場所：登録有形文化財「藤岡家住宅」（全館）

内容：藤岡家住宅の武者人形は神功皇后と武内宿禰、加藤清正らの人形です。いずれも江戸時代の作で、およそ60センチの高さです。武内宿禰が抱いている赤ん坊は、神功皇后が戦いの帰りに筑紫で産んだという後の応神天皇です。武者のぼりは約9メートルの長さに「平家物語」より『義経弓流しの場』を描いています。近くの近内御霊神社には天保10年（1839）藤岡長兵衛が奉納した『義経弓流しの場』の絵馬があります。武者のぼりと作者はおそらく同じであろうと思われます。ほかに江戸時代の画家渡辺鶴修が加藤清正と豊臣秀吉を描いた武者のぼりや、豪華な金細工のほどこされた冑台、木製の鍾馭像なども残されています。近代の作家では北野恒富（明治13年～昭和22年）の描いた「桃太郎」、菅楯彦（明治11年～昭和38年）が菖蒲の節句の風俗を描いた「随陽清風」を展示しています。

菖蒲の節句は、時代の英雄たちが主人公です。英雄たちに出会いに、どうぞ来館下さい。

おすすめイベントのご案内

第4回青葉の舞台 ～復元の琴演奏会～ 玉骨の妹英子さんの琴を演奏します

5月10日（土）午後1時～3時・入館料（大人300円・小人200円）のみ

筑前琵琶とお話 演奏 補陀旭蓮尼

英子さんの琴演奏 島田響湖 ほか

お食事ご利用の際は午前11時半から。うちの里・ランチ1200円。お食事は要予約



藤岡玉骨の妹高橋英子さんが和歌山市浄蓮寺の補陀旭蓮尼に上げた琴が藤岡家に戻りましたので記念の演奏会を開きます。

天駆ける万葉の馬

ムジークフェストなら2014

6月25日（水）午後1時～3時

入館料（大人300円・小人200円）のみ

（事前申し込み・申し込み方法はお問い合わせ下さい）

講演 上野誠氏（奈良大学文学部教授）

演奏 岡田由美子氏（ソプラノ）ほか



上野誠氏



岡田由美子氏



お問い合わせ、お申し込みは うちの館（やかた）まで

〒637-0016 奈良県五條市近内町526 電話とファックス0747（22）4013

ホームページはうちの館でご検索下さい。